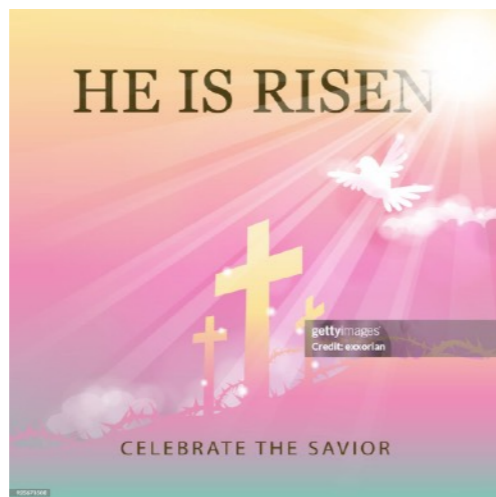


2024年5月 教会行事予定表

曜	午前	午後
1 水	こっとな倶楽部 10:00	
2 木		
3 金		
4 土	掃除：蘭岳地区	
5 日	ミサ 9:30 (典礼：白鳥) 運営委員会	
6 月		
7 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
8 水	こっとな倶楽部 10:00	
9 木		
10 金		キリスト教講座①18:30
11 土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後 掃除：蘭岳	
12 日	ミサ (小林師) 9:30 (典礼：楽山) 例会日	ブロック会議 (東室蘭)
13 月		
14 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
15 水	こっとな倶楽部 10:00	
16 木		
17 金		キリスト教講座①18:30
18 土	掃除：蘭岳	
19 日	ミサ9:30 (典礼：蘭岳) 子供・父母合同パーティー	地区連絡会 (苫小牧)
20 月		
21 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
22 水	こっとな倶楽部 10:00	
23 木		
24 金		キリスト教講座①18:30
25 土	ミサ 10:00 キリスト教講座②ミサ後	
26 日	集会祭儀 9:30 (典礼：太平洋) ミニ大掃除の日	
27 月		
28 火	OPC (パソコン倶楽部) 10:00	
29 水	こっとな倶楽部 10:00	
30 木		
31 金		キリスト教講座①18:30

2024典礼・掃除当番の地区表			
太字はミサです		4月	5月
1 週	ミサ	<b>楽山</b>	<b>白鳥</b>
2 週	集会	蘭岳	<b>楽山</b>
3 週	ミサ	<b>太平洋</b>	<b>蘭岳</b>
4 週	集会	白鳥	太平洋
5 週	ミサ		
	集会	楽山	蘭岳

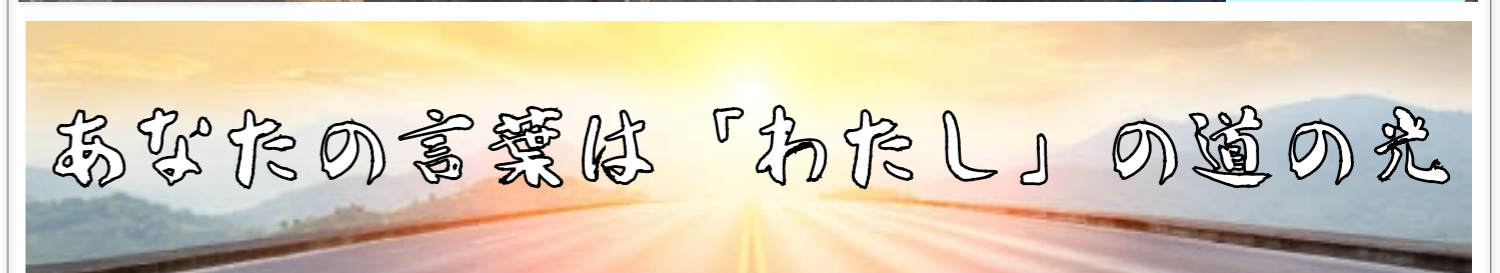


# 2024 4/14

# ひとつになろう

カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行

〒050-0073  
室蘭市宮の森町4-9-7  
☎0143-44-3851



## 日曜日の説教

あなたの言葉は「わたし」の道の光

2024年4月14日

B年  
復活節第3主日  
ルカ24・35～48

Fr. YASU

2024年4月14日  
鹿児島市清水小学校5年生の田平麻友さんが、次のような投稿をしています。(南日本新聞2024年4月8日朝刊)

「3月11日の道徳の時間に『かぜのでんわ』というお話を読みました。実際に13年前の東日本大震災の後、岩手県大つち町に置かれた風の電話がモデルだそうです。電話はどこにもつながっていませんが、会えなくなった人の思いを届けられるといわれています。

私はどうしてつながらない電話をみんな使いたがるのだろうと、不思議でした。でも、もしも私の大切な人がなくなったら、すぐに風の電話に行くと思いました。もちろん、なくなった人の声が返ってくるとは思いません。電話をかけるのは自己満足かもしれません。でも、自分の大切な人とお別れするか分からない。だから、いつどんなお別れがきてもいいように、大切に過ごしていこうと学習を通じて思いました。・・・ふだんからひなんについて考え、なくなった方々の思いも受け止めて生きたいです。」

小学校5年生の投稿内容は、日常から、情報の流れをいかに注意深くキャッチすることが大事であるかを感じさせるものになりました。投稿者が小学生であるということも、わたしにとっては驚きです。この年齢から「良き死、別れ」を覚え、感じてしまうということは、わたし自身を振り返ってみたときありません。でも、言われていたことはあります。何も感じていなかったのです。

今は情報化時代。速くて正確な情報が入手できます。中には偽情報もありはしますが、そこは賢明な判断が、処理の仕方が求められます。とはいっても、これだけの情報を賢明に見分けるには、かなりの能力が求められるような気がします。それも、人によって受け止めかたが異なってくると、見分けのやり方、情報の処理の仕方に、かなりの違いが出てくるような気がします。

ある人には愚かな情報であり、他の人には躓きの原因になり、また、他の人には無意味な無味乾燥なものであったりします。同じ情報が。先の小学校5年生の原稿に対して、思う気持ちにもいろいろな情があり得ます。原稿を書いた本人、田平麻友さんが自分の感想、思い入れを正直に表現したものであることは確かでしょう。その上に立って読み直しをすると、また違ったものを感じるのではないのでしょうか。情報を発信した人の年齢、立場を、判断するとき考慮に入れると、新たな感じが、人の心が見えてくるのでは、・・・。

人間の世界では、いつも正確な、正当な情報が流され、受け取れるとは限りません。また、受

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

### 3. 報告:

#### 3.1, 4月・5月の予定

4月 7日(日)復活節第二主日	ミサ(楽山地区典礼当番)	運営委員会
4月14日(日)復活節第三主日	集会祭儀(蘭岳地区典礼当番)	壮年部・女性部 例会
4月21日(日)復活節第四主日	ミサ(太平洋地区典礼当番)	教会総会
4月28日(日)復活節第五主日	集会祭儀(白鳥地区典礼当番)	
5月 5日(日)復活節第六主日	ミサ(白鳥地区典礼当番)	運営委員会) マリア祭
5月12日(日)主の昇天	ミサ(楽山地区典礼当番)	
5月19日(日)聖霊降臨の主日	ミサ(蘭学地区典礼当番)	
5月26日(日)三位一体の主日	集会祭儀(太平洋地区典礼当番)	

#### ※毎週の行事(変更の場合あり)

- ・火曜日午前10時~ OPC(パソコン教室)
- ・水曜日午前10時~ こっこん倶楽部
- ・金曜日午後6時30分~ キリスト教講座①
- ・第二、第四土曜日午前10時~ミサ ミサ後、キリスト教講座②

#### 3.2 財務報告 現時点では特に問題ありません

### 4. 議事:

#### 4.1 教会総会について

日時 : 4月21日(日) ミサ後  
資料の準備 部数 80部 発行時製本協力する。

#### 4.2 4月、5月からのミサ、集会祭儀の典礼当番について(4pの表をご覧ください)

#### 4.3 教会内外の清掃について

- ・4月末に聖堂掃除(現在使用中の回転モップを試みとして使用実施及び司祭館・ホール・廊下等のワックスかけ)
- ・切断された小枝の整理等は5月末天候を判断して実施(処理は業者に依頼)

#### 4.4 子供の日・父母の日合同パーティーについて

5/19(日)に実施する 詳細は、女性部で検討

#### 4.5 その他

- ・夏季学校のお泊り会について  
当教会は該当者がいないが、実施の時は、協力する
- ・苫小牧地区連絡協議会について  
5/19(日) 議題の要望があれば開催日までに検討する
- ・たたみの部屋のカーテンレール 業者に依頼
- ・新名簿に関わる住所録は、各地区毎に確認して発行する

### 5. ミサ・集会祭儀の予定

4/7 ライヤ師 4/14 集会 4/21 ライヤ師 4/28 集会  
5/5 ライヤ師 5/12 小林師 5/19 ライヤ師 5/26 集会

ける人のその時の気持ちの在り方によっても、大きく変わってきます。

今日の福音において、イエスの復活は、弟子たちにでさえ、怯えられ、疑いを抱かれていました。その弟子たちを前に、イエスは自分が幽霊ではないことを示すためにいろいろなことをして見せます。まず、手と足を見せます。それでも不思議がっているのです、今度は、焼いた魚を彼らの前で食べます。これで、幽霊ではないことが分かったのですが、つまり、復活したイエスであるということです。しかしこのままでは、あくまでも弟子たちだけの喜びのイエスの復活になってしまいます。

いわゆる、「ユダヤ人はしるしを求め、ギリシア人は知恵を探しますが、わたしたちは、十字架につけられたキリストを宣べ伝えています。すなわち、ユダヤ人にはつまずかせるもの、異邦人には愚かなものです」(1コリントの信徒への手紙1章23節)で終わってしまいます。つまり、人間の世界のごく限られた常識内の出来事で終わってしまいます。ところが、メシアの本来の役割は、内輪の人への対応だけではあまりにも狭い、神のなさり方としてはあり得ないことです。つまり「ユダヤ人であろうがギリシア人であろうが、召された者には、神の力、神の知恵であるキリストを宣べ伝えているのです。」(1コリント1章24節)という役割であって、広がりがあり、ダイナミックです。

イエスの復活は、内輪の人々だけではなく、全世界の人々にとってどのような意味合いを持った出来事なのかを悟らなければいけないでしょう。つまりは、主の復活はすべての人々のためなのです。このことを分かるためにパウロは言っています。「神に召される」ことなのです、と。その神の召し方について、さらに、言及しています。

「神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。兄弟たち、あなた方が召された時のことを、思い起こしてみなさい。人間的に見て知恵のある者が多かったわけではなく、能力のある者や、家柄のよい者が多かったわけでもありません。ところが、神は知恵ある者に恥をかかせるため、世の無学な者を選び、力ある者に恥をかかせるため、世の無力な者を選ばれました。また、神は地位のある者を無力な者とするため、世の無に等しい者、身分の卑しい者や見下げられている者を選ばれたので

す。それは、だれ一人、神の前で誇るようなようにするためです。神によってあなたがたはキリスト・イエスに結ばれ、このキリストは、わたしたちにとって神の知恵となり、義と聖と贖いとなられたのです。『誇る者は主を誇れ』と書いてあるとおりになるためです。」(1コリント1章25節~31節)と。

イエスは直接弟子たちに言います。「イエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。」つまり、イエスご自身が「彼らの心の目を開いて」メシアについて言われている聖書を悟らせてくださったのです。

十字架にかかったメシアを理解するためには、神によって召される、呼ばれる必要があるということです。こうしてイエス(メシア)を証しする人が増え、共同体が大きくなっていきました。

学習するということは、神に呼ばれる状態を自分の中につくっていくことにつながるんですね。5年生の田平麻友さんの中にも、新たな(親しい人との関係のあり方に気づく)自分をつくり始めることでしょう。新たな人間関係に目覚める自分になっていきます。

今日の福音では、イエスの弟子は「使徒」となっていたのです。新たな生活に目覚めつつ。



この記事を書いた人

FrYASU.

Fr.YASUさんは1972年に司祭叙階されたカトリックの神父さんです。

なんと!2022年で司祭生活50年(金祝)を迎えました。